

第56回全国高等専門学校体育大会 第55回全国高等専門学校体育大会卓球競技実施要項

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会卓球競技専門部、いわき卓球協会、福島工業高等専門学校
3. 後援 文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本卓球協会、福島県、福島県教育委員会、いわき市、いわき市教育委員会、檜葉町、檜葉町教育委員会、公益財団法人福島県体育協会、いわき市体育協会、一般社団法人福島県卓球協会
4. 協賛 日本卓球株式会社（Nittaku）、株式会社VICTAS、株式会社タマス（BUTTERFLY）
5. 大会期日 令和3年10月30日（土）、31日（日）
6. 公式練習 令和3年10月29日（金）13:00～17:00
※会場準備状況により変更の場合あり
7. 会場 ならはスカイアリーナ
〒979-0605 福島県双葉郡檜葉町大谷上ノ原16 TEL: 0240-23-7966
8. 競技種目
 - (1) 男子団体の部
 - ア. 出場校：各地区代表12チーム
 - ① 北海道（1校） ② 東北（1校） ③ 関東信越（1校）
 - ④ 東海北陸（2校） ⑤ 近畿（1校） ⑥ 中国（2校）
 - ⑦ 四国（1校） ⑧ 九州沖縄（2校） ⑨ 開催校枠（1校）
 - イ. チーム編成（ベンチ入りできる者）
監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、男子選手7名以内の計10名以内
（学生のコーチ、マネージャーは認めない。）
 - (2) 女子団体の部
 - ア. 出場校：各地区代表8チーム
 - ① 北海道（1校） ② 東北（1校） ③ 関東信越（1校）
 - ④ 東海北陸（1校） ⑤ 近畿（1校） ⑥ 中国（1校）
 - ⑦ 四国（1校） ⑧ 九州沖縄（1校） ⑨ （開催校枠）
 - ※団体の部の開催校枠は開催校が代表にならなかった場合に出場できる
 - イ. チーム編成（ベンチ入りできる者）
監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、女子選手7名以内の計10名以内
（学生のコーチ、マネージャーは認めない。）
 - (3) 個人の部
 - ア. 参加選手
 - ① 男子シングルス 各地区代表2名（ただし、北海道1、開催校枠1）計16名
 - ② 男子ダブルス 各地区代表2組（ただし、北海道1、開催校枠1）計16組

- ③ 女子シングルス 各地区代表 2 名（ただし、北海道 1、開催校枠 1）計 16 名
 - ④ 女子ダブルス 各地区代表 2 組（ただし、北海道 1、開催校枠 1）計 16 組
- イ. ベンチ入りできる者
- 個人の部に登録された監督、コーチ、選手、または団体の部に登録された監督、コーチ、マネージャー、選手の内 1 名
- （シングルスのみ出場の場合学生コーチ 1 名は認める。ダブルスの学生コーチは認めない。）

9. 参加資格 高等専門学校の学生で、（公財）日本卓球協会に本年度登録している者であること。

- 10. 競技規則**
- (1) 現行の日本卓球ルールによる。
 - (2) 使用球は、（公財）日本卓球協会公認プラスチック球 40 mm ホワイトとする。
 - ・ 日本卓球株式会社(Nittaku) プラ 3 スタープレミアム
 - ・ 株式会社VICTAS VP40+スリースターボール
 - ・ 株式会社タマス(BUTTERFLY) スリースターボールR40+
 - (3) 選手は、（公財）日本卓球協会指定のゼッケンを背につけなければならない。
 - (4) 団体及び個人ダブルスは同一の（公財）日本卓球協会公認のウェアを着用する。また、団体、個人ダブルス、個人シングルスとも対戦相手とは異色にする。

- 11. 競技方法**
- (1) 男子団体の部
 - ア. 出場チームを A、B、C、D の各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの 1 位チームによる決勝トーナメント（準決勝の組合せは A 対 B、C 対 D とする）を行う。また予選リーグ各ブロック 2 位チーム（4 チーム）と、決勝トーナメント一回戦敗退チーム（2 チーム）で 3 位決定トーナメントを行う。（組合せは準決勝 A 対 B の敗者は C 対 D の 2 位チームの勝者と対戦し準決勝 C 対 D の敗者は A 対 B の 2 位チームの勝者と対戦し各々の勝者を 3 位とする）
 - イ. 試合は、4 シングルス、1 ダブルスの編成とし、3 番にダブルスをおき、3 点先取で勝敗を決定する。また、1、2 番に出場する選手のみでダブルスを組むことはできない。
 - ウ. シングルス、ダブルスともに予選リーグは 1 1 本 3 ゲームマッチ、決勝トーナメントは 1 1 本 5 ゲームマッチとする。
 - (2) 女子団体の部
 - ア. 出場 9 チームを A、B、C の各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの 1 位の 3 チームによる決勝リーグ、2 位チームによる 3 位決定リーグを行う。1 位リーグの上位から優勝、準優勝、3 位、及び 3 位決定リーグの 1 位チームを同 3 位とする。（3 位決定戦は行わない）
 - イ. 試合は、4 シングルス、1 ダブルスの編成とし、3 番にダブルスをおき、3 点先取で勝敗を決定する。また、1、2 番に出場する選手のみでダブルスを組むことはできない。
 - ウ. シングルス、ダブルスともに予選リーグは 1 1 本 3 ゲームマッチ、決勝トーナメントは 1 1 本 5 ゲームマッチとする。
 - エ. エントリー数により競技方法を変更する場合がある。
 - (3) 個人の部

- ア. 出場選手をA、B、C、Dの各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの1位選手による決勝トーナメント（準決勝の組合せはA対B、C対Dとする）を行う。また予選リーグ各ブロック2位選手と、決勝トーナメント一回戦敗退選手で3位決定トーナメントを行う。
- （組合せは準決勝A対Bの敗者はC対Dの2位選手の勝者と対戦し準決勝C対Dの敗者はA対Bの2位選手の勝者と対戦し各々の勝者を3位とする）
- イ. シングルス、ダブルスともに予選リーグは11本3ゲームマッチ、決勝トーナメントは11本5ゲームマッチとする。

12. 組合せ 参加申し込み終了後、主管団体の責任において決定し、その結果を直ちに出場校に通知する。

(1) 男子団体の部

ア. シード4チームを決定する際には次の事項を考慮する。

- (a) 前年度本大会ベスト4のチームを上位にシードする。1位は優勝チーム、2位は準優勝チーム、3位は、3位決定戦の勝者で、予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントで優勝チームに敗退したチームを上位とする（3位決定戦の勝者2チームが予選リーグ1位と2位通過の場合は予選1位通過が上位、2チームが2位通過の場合は、優勝及び準優勝したチームの予選ブロック順位をそれぞれ1位、2位とし、優勝したチームに敗退したブロックを3位として、そのブロック順位から出場したチームをブロック順位に応じて上位とする）。ただし、該当チームが地区大会で2位以下（ただし、同一地区から入賞校が2校以上ある場合は、地区大会2位でもシードになりうる）又は出場しない場合は、その所属地区の1位チームを前年度の本大会における該当チームの順位に応じて下位に順番にシードする。シード順位はA、D、C、Bの各ブロック順とする。

(b) (a)でも決定できない場合は、出場地区の1位チームから抽選で下位に順次決定する。

イ. 同一地区の代表チームの1位と2位は決勝トーナメントの決勝戦まで対戦しないようにする。（東海北陸地区は、この限りでない。）また、ア. で決定した同一地区のシードチームが決勝戦までに対戦する場合は、C1、B1のシードの入れ替えを行う。）

ウ. 前年度の大会の組合せを考慮する。（予選リーグは、前年度と同じ対戦相手とならないように配慮する。）

(2) 女子団体の部

ア. 前年度本大会団体戦上位チームをシードする。1位は優勝チーム、2位は準優勝チーム、3位は準決勝で優勝チームに敗退したチームとしそれぞれA、B、Cブロックにシードする。

イ. シード以外は抽選とする。

ウ. エントリー数により組合せを変更する場合がある。

(3) 個人の部

ア. シード4個人を決定する際には次の事項を考慮する。

- (a) 前年度本大会ベスト4の個人を上位にシードする。1位は優勝個人、2位は準優勝個人、3位は3位決定戦の勝者で、予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントで優勝した個人に敗退した個人を上位とする（3位決定戦の勝者の2者が予選リ

ーグ1位と2位通過の場合は予選1位通過が上位、2者が2位通過の場合は、優勝及び準優勝した個人の予選ブロック順位をそれぞれ1位、2位とし、優勝した個人に敗退したブロックを3位として、そのブロック順位から出場した個人をブロック順位に応じて上位とする)。ただし、該当個人が出場しない場合は、その所属地区の1位個人を前年度の該当個人の本大会順位に応じて下位に順番にシードする。なお、シード順位はA1、D1、C1、B1の各ブロック個人番号とする。

(b) (a)で決定できない場合は、出場地区の1位個人から抽選で下位に順次決定する。

(c) ダブルスの場合は、前年度のペアと異なる場合にはシードしない。

イ. 同一地区の代表個人の1位と2位は、決勝戦まで対戦しないようにする。(東海北陸地区はこの限りではない。また、ア. で決定した同一地区のシード選手が決勝戦までに対戦する場合は、C1、B1のシードの入れ替えを行う)

ウ. 地区大会の成績を考慮する。

エ. 前年度の大会の組合せを考慮する。(予選リーグの各ブロックの対戦相手は、前年度と同じ対戦相手とならないように配慮する)

13. 表彰

(1) 男子団体優勝校には、賞状及び文部科学大臣杯とメダルを授与し、2位、3位チームには賞状及びメダルを授与する。

(2) 文部科学大臣杯は、男子団体優勝校の持ち回りとする。

(3) 前年度男子団体優勝校には、文部科学大臣杯受賞章を授与する。

(4) 女子団体優勝校及び2位、3位には賞状及びメダルを授与する。

(5) 個人種目は1、2、3位に賞状及びメダルを授与する。

(6) 功績が特に顕著なチーム、個人に対しては特別に表彰することがある。

14. 選手の変更

(1) 不慮の事故(ア、イ)による団体の部の選手変更は、大会前日までに変更届を開催校に提出した上で、代表者会議において協議の上認める場合がある。個人の部では変更を認めない。

ア. 選手の病気、怪我による入院。(医療機関の診断書又は証明書を添付する)

イ. 3親等以内の不幸。(届書を添付する)

15. 監督、コーチ、マネージャーの資格

(1) 団体の部

ア. 出場校の校長が認めた次の者とする。

監督：教員

コーチ：教員、職員(非常勤・外部コーチ含む)

マネージャー：教員、職員(非常勤・外部コーチ含む)

(2) 個人の部

ア. 出場校の校長が認めた次の者とする。

監督：教員

コーチ：教員、職員(非常勤・外部コーチ含む)又は学生

※個人の部と団体の部の両方に出場する学校の監督は団体の部と重複してよい。

シングルスのみ出場の場合学生コーチ1名は認める。ダブルスの学生コーチは認めない。

(4) ベンチ入りする監督、コーチ、マネージャーは標章を身に付け、選手はゼッケンを身

に付ける。

16. 監督、コーチ、マネージャーの変更

(1) 大会前日までに変更届を開催校に提出し、代表者会議で審判長と競技委員長の承認を必要とする。

17. 競技マナー

- (1) 選手は高専生らしい真摯な態度で試合を行うように努める。
- (2) ポイントごとの間は速やかにプレーに入り、不必要に時間を取らない。
- (3) ベンチや応援団の応援は日本卓球ルールに準拠し、試合進行の妨げにならないように心がけると同時に、声を発する応援は慎む。

18. 代表者会議

- (1) 日時 令和3年10月29日(金) 16:00~17:00
- (2) 場所 檜葉町コミュニティセンター 会議室
〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町北田鐘突堂5-4 TEL: 0246-25-4701

19. 開会式

代表者会議終了後、同会場にて行う。

20. 閉会式

閉会式は行わず、各競技終了後に競技会場にて、表彰を行う。

21. 宿 舎

宿泊の予約・支払方法は開催地区の旅行業者(株式会社たび)に依頼し、対応は出場する各校で行う。詳細は、別紙申込書を参照すること。

22. 参加料及び納入方法

参加料	男子団体の部	1チーム当たり	14,400円
	女子団体の部	1チーム当たり	14,400円
	個人の部	選手1人当たり	1,800円

(「団体の部」登録選手の「個人の部」参加料は、無料とする。)

参加料は参加申込みと同時に振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

[振込口座]

金融機関名 東邦銀行 いわき営業部
口座種別 普通預金
口座番号 2643044
口座名 全国卓球競技 福島工業高等専門学校 学生課長 大野 速太
(フリガナ) ゼンコクタクキョウギョウギ フクシマコウギョウコウトウセンモンガッコウ カクセイチョウ オノハヤタ

23. 参加申込

- (1) 申込期限 令和3年9月29日(水) 必着
- (2) 申込先 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校 学生課学生支援係
TEL 0246-46-0736 FAX 0246-46-0742
- (3) 申込方法 各地区の担当校が別途定める参加申込書で申し込むこと。
- (4) その他 予選会等により、申込が期日までに間に合わない場合は、事前連絡をお願いします。

24. 新型コロナウイルス感染症対策

別途一般社団法人全国高等専門学校連合会が定める「全国高等専門学校体育大会における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関するガイドライン」によるほか、(公財)日本スポーツ協会における競技団体別ガイドライン等の感染拡大予防対策を行い運営するものとする。

参考：日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策（ガイドライン）

http://www.jtta.or.jp/Portals/0/images/association/guidelines/20200530_NTCguideline.pdf

25. その他

- (1) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置をするが、その後の処置は各学校及び各自で行うこと。
- (2) 健康保険証等は、各自で準備しておくこと。（写は不可）
- (3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
- (4) 大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局（gakusei@fukushima-nct.ac.jp）に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策により競技種目、競技方法が変更される場合がある。
- (6) 本要項中の「前年度」については、「令和元年度」と読み替えることとする。